

コマンドの説明

制御コマンド

プログラムスタート プログラムの先頭に必ず入れてください。

3 回繰り返す ★のところにコマンドを入れると、指定した回数、繰り返し実行します。

多重ループ（繰り返しの中に繰り返し）も可能です

もし～なら ▲の所に条件コマンドを入れます。その条件が成立すれば、★に入れたコマンドを実行します。条件が成立しなければ、※に入れたコマンドを実行します。

もし～なら ▲の所に条件コマンドを入れます。その条件が成立すれば、「YES」(★)のコマンドを実行します。条件が成立しなければ、「No」(●)のコマンドを実行します。

条件コマンドには、SWのON/OFF、指定した数値よりも明るい暗いか、指定した数値よりも温度が高いか低いかがあります。

- SW=ON
- 明るさ >= 50
- 温度 > 25
- 現在の温度が変数 x より高い

現在の温度が変数コマンドで計測した値よりも高いか低いか比較します。

LED 点灯コマンド

赤 1 秒点灯 選択した色で、LED を点灯させます。点灯時間は 0.25 秒から 31.75 秒まで、0.25 秒ずつ指定できます。

★ で 1 秒点灯 ★部分をクリックして、点灯色を選びます。

Red: 255 Green: 255 Blue: 255 で 1 秒点灯 光の3原色である、赤、緑、青を数字で指定して光らせます。0(暗い)～255(明るい)を指定できます。

赤をフェードイン 指定した色をフェードイン・フェードアウトします。フェードイン：だんだん明るくなります。フェードアウト：だんだん暗くなります。

赤を連続点灯 指定した色で、LED を点灯させ続けます。タイマ命令や信号待ち命令と組み合わせて使います。

バックライトを 100 % で 1 秒間点灯する 時計のバックライトを指定の明るさと秒数で点灯させます。連続点灯と消灯命令もあります。

変数コマンド

変数 x に代入する 温度を測定し、変数 x に保存します。この値は、プログラム中に何度も使えます。例えば、x で計測した 10 秒後の温度と比較する場合に使用します。

白色 LED コマンド

全列 の白色 LED を 100 % で 1 秒間点灯する

白色 LED を点灯させます。点灯時間は 0.25 秒から 31.75 秒まで、0.25 秒ずつ指定できます。

全列 の白色 LED を フェードイン する

フェードイン：だんだん明るくなります。フェードアウト：だんだん暗くなります。

全列 の白色 LED を 100 % の明るさで連続点灯する

白色 LED を点灯させ続けます。タイマ命令や信号待ち命令と組み合わせて使います。

全列 の白色 LED を Sw を押している間明るくする

SW を押している間白色 LED を徐々に明るくします。タイマ命令や信号待ち命令と組み合わせて使います。

サウンドコマンド

確認音 1

確認音 1~3 の 3 種類の音を鳴らせます。

音プログラムを再生する

確認音 1~3 の 3 種類の音を鳴らせます。「音プログラムを再生する」は、自作の音楽をプログラム中に鳴らすことができます。

タイマコマンド

動作停止 1 秒

タイマコマンドは、指定した時間（1～255 秒）プログラムが止まります。

動作停止 1 秒 or 音センサ

「or～」となっているのは、タイマ動作中にそのセンサに入力が有れば、タイマがキャンセルされて、次の命令に進みます。

動作停止 1 秒 or SW センサ

動作停止 1 秒 or 明るくなるまで 50

動作停止 1 秒 or 暗くなるまで 50

動作停止 1 秒 or 温度 25 度

例

動作停止 1 秒 or SW センサ

左の例では、100 秒を計測中に、SW スイッチを押すと、タイマの計測を止めて次の命令に進みます。

信号待ちコマンド

音センサ信号があるまで待つ

信号待ちコマンドは、それぞれのセンサに入力があまるまで、プログラムが停止します。

SW ボタンが押されるまで待つ

温度が 25 度になるまで待つ

「信号入力があるまで待つ」別売の接続ケーブルを使って、2台のオーロラクロックを接続し、「信号出力」命令と合わせて使います。

明るくなるまで待つ 50

暗くなるまで待つ 50

信号入力があるまで待つ

「アラーム信号があるまで待つ」アラーム時刻を設定して、その時刻になるまでプログラムが停止します。

アラーム信号があるまで待つ

出力コマンド

信号出力

信号出力端子に別売の SK-01 ケーブルを接続して使います。

DC モーターを 1 秒動かす

「信号出力」は、2台のオーロラクロックを接続したときに使います。

豆球を 1 秒動かす

「豆球」や「DC モーター」は、別売の UCK-10 の豆球、DC モーターを動作させることができます。